

【新校舎配置ファミリアリゼーション】

- ・新校舎を利用する教職員と幼児児童生徒の共通言語が必要と思われますので、ここで新校舎の呼び名を提案したいと思います。
 - ・新校舎は、東西に伸びる3つの棟と南北に長く伸びる棟からできています。
 - ・まず、南北に長く伸びている棟のことを中央校舎、そしてその廊下のことを中央廊下と呼びます。
 - ・東西に伸びる3つの棟を南側からA校舎、B校舎、C校舎と呼びます。
 - ・そして、A校舎のみ、中央廊下の西側と東側が存在します。B校舎とC校舎は中央廊下の東側にしかありません。B校舎とC校舎の中央廊下西側は、グラウンドになっています。
 - ・次に、A校舎西の北側には、体育館が位置しています。そしてその向こう、つまり更に北側がグラウンドとなっています。
 - ・そして、A校舎東の北側は、植物園、その向こうがB校舎、その向こうがまた植物園、その向こうがC校舎となっています。
 - ・昇降口は、中央校舎の南突き当りにあり、A校舎の丁度、中央に位置しています。
 - ・昇降口は、正門(南東門)から北へ真っすぐ点字ブロック沿いに進むとあります。
 - ・正門と新校舎の間は、点字ブロックを境に西側が幼稚部園庭で、築山が大小合わせて2つあります。点字ブロックの東側にはバスロータリーがあります。
-
- ・さて、呼び名に話を戻します。
 - ・中央廊下に隣接するそれぞれの階段には大きくA、B、Cの墨字表記がされていますので、そのままA階段、B階段、C階段と呼びます。中の階段はこの3箇所のみです。
 - ・また、廊下はA廊下、B廊下、C廊下と呼びます。A廊下だけは、A廊下西、A廊下東となります。
 - ・次に緊急時の避難の際、とても大事な場所の呼び名についてです。
 - 非常口と非常階段についてです。全部で4個所あり、非常階段は外にあります。

・A校舎の西側1階には幼稚部教室があるので、A校舎西の突き当りを幼稚部非常口と呼びます。そして、A校舎西突き当りの外には非常階段があり、2階には小学部教室があるので、そこを小学部非常階段と呼びます。

・残りの3箇所は東側の突き当りになっています。

A校舎東突き当りをA非常口、その外にある非常階段をA非常階段と呼びます。

同様に、B校舎東突き当りをB非常口、その外にある非常階段をB非常階段と呼び、C校舎東突き当りをC非常口、その外にある非常階段をC非常階段と呼びます。

・次に、各校舎内の部屋の配置についてです。校舎ごとに話します。

・まず、中央校舎1階ですが、昇降口から中央廊下を北へ進み、A校舎を抜けると西側にトイレや生徒更衣室があります。これは、体育館と繋がっているトイレ・更衣室になります。それらを抜けると技師室、相談室、会議室、理療科準備室があります。今はまだ、そこが突き当たりになっていますが、後には渡り廊下ができ、寄宿舎とつながる予定です。

・中央校舎2階には、印刷室と職員室があります。

・A校舎は、1階西側は幼稚部教室と校長室、事務室があり、幼稚部専用の昇降口もあります。1階東側はB課程の教室になっています。

・A校舎2階の西側には、小学部教室、多目的室、資料室があります。

・A校舎2階の東側には、中学部・普通科の教室と生徒会室があります。

・B校舎には、特別教室と呼ばれる部屋が集中しています。1階には、保健室や図書室、技術室、美術室、情報教育室があり、2階には、理科室、調理室、和室、音楽室があります。

・C校舎は、理療科棟です。1階には、理療科教室、臨床実習室、受付、リハビリ室があり、2階は理療科の教室になっています。

・食堂に行くときは、C廊下を通って情報センターに向かうように進み、渡り廊下を通ります。

【校舎ごとの色分け及びマーク】

- ・次に、校舎は、A、B、C の建物ごとに、校舎の入り口、つまり中央廊下と各校舎との角に色分けがしてあります。色にプラスして、マークもあります。
- ・A 校舎西の色はピンクで、マークは□です。大きな□が一つと小さな□が二つ表示されています。
- ・A 校舎東の色は青色で、マークは○です。大きな○が一つと小さな○が二つです。
- ・B 校舎の色は赤色で、マークは☆です。
- ・C 校舎の色は緑色で、マークは△です。

【階段の工夫】

- ・階段の段鼻についている滑り止めには、端が分かるように色分けがしてあります。階段の最初と最後は青色、間はすべて赤色になっています。また、「何色かの識別は難しいけれど、色の濃淡は分かる」という方のために、最初と最後の段鼻は端から端まで青色、2 段目以降は両サイドのみ赤色で、中央部分はクリーム色の踏み面(ふみづら)と同系色の白色にして、目立たないようにしています。そうすることで、最初の段、最後の段と分かる工夫をしています。